

東日本大震災聴覚障害者救援中央本部 救援ニュース 第6号 (2011. 7. 20 発行)

【発行責任者】東日本大震災聴覚障害者救援中央本部 事務副総括 中村慎策
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 130 SKビル 8階 財団法人全日本聾唖連盟内
TEL:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445 <http://www.jfd.or.jp/tohoku-eq2011/>

JDF 東日本大震災被災障害者総合支援本部第一次報告会が開かれました！！

日本障害フォーラムにおける JDF 東日本大震災被災障害者総合支援本部第一次報告会が、7月13日（水）午後1時から衆議院第一議員会館多目的ホール（東京永田町）で行われました。

約200人の参加者があり、議員も衆、参合わせて9人の議員の他、多くの議員秘書も参加し、省庁からは内閣府の東室長、参事官が参加していました。



(写真：参加者で埋め尽くす会場)



(写真：藤井 JDF 幹事会議長)

最初に黙とうが行われ、小川 JDF 代表の挨拶の後、藤井 JDF 幹事会議長から JDF としての被災者支援の報告がありました。その中で、藤井氏は、障害者は健常者が受けた被害以上の多大な被害を被って非常に悲惨な状況にあり、早急に改善しなければいけないと述べていました。



(写真：JDF みやぎ支援センターの報告)

次に、JDF みやぎ支援センター、JDF 被災地障害者支援センターふくしまからの報告がありました。共通していたのは、被災地の障害者の安否確認と彼らのニーズの把握と支援が、個人情報保護法の壁により進まないという問題であり、その中で、南相馬市が独自の判断により、障害者手帳保持者名簿を提供したことが高く評価されていました。この他、仮設住宅のバリアフリー化、福祉避難所の整備及び周知の問題などが出されました。

福島の場合は、原発事故による放射性物質拡散の影響により、避難所、支援センターの県外への設置、県外に避難した障害者の支援、風評による福島県民への差別的な言動などの独特の問題があるとの話がありました。



(写真：JDF 支援センターふくしまの報告)

その後、東内閣府障がい者制度改革推進会議担当室長から、障がい者制度改革推進会議での検討状況についての報告があり、災害時の障害者の支援についても、権利条約に規定されている内容に沿ってなされるべきであり、安否の確認、ニーズの把握とそれに対する支援がきちんとなされるべきである、そのためにも、通常時から障害者のニーズに充分対応できるインクルーシブな地域社会を築いて行かなければいけないと述べました。



(写真：内閣府東室長)

これに引き続いて、JDF 幹事会副議長である久松全日本ろうあ連盟事務局長のコーディネートにより、JDF 構成団体やその他の団体からの報告、意見発表が行われ、東日本大震災聴覚障害者救援中央本部からは河原情報・広報担当がろう者の被災状況と、情報保障及びニーズの把握のための手話通訳の必要性を述べ、岩手県の協力を得て沿岸部の聴覚障害者に対するアンケート調査を行うことを報告しました。



(写真：コーディネートする久松事務総括)



(写真：指定発言する河原情報・広報担当)

最後に、森 JDF 政策委員長から、この集会の後に厚生労働省に提出する第4次要望書案の内容についての説明があり、参加者全員一致で承認され、森氏の挨拶により、集会を終えました。

この後すぐ、JDF 幹事会のメンバーで厚生労働省に向かい、第4次要望書を提出しました。



(写真：厚労省への要望書提出)

終了予定時間を1時間近くオーバーしたことから、もわかるように、さまざまな障害者団体が行っている支援活動の中で、個人情報保護法の壁など共通して持っている問題や、平常時から障害者が地域の中で安心して生活出来るような社会の構築の必要性を再確認出来たと言う点で、有意義な集会でした。

以上

☆(株)東京信友より「強力振動目覚まし時計 Wake V-A」20個を寄贈！！

先日、吉原物資支援担当が東京信友を訪問し、被災地で津波のために振動目覚まし時計をなくしてしまって困っている方がいるので何とか支援して欲しいと依頼したところ、「強力振動目覚まし時計 Wake V-A」20個を寄贈して下さることになりました。7月14日、(株)東京信友の土持(つちもち)さんと三井さんが本部事務所においでになり、「強力振動目覚まし時計 Wake V-A」20個を寄贈してくださいました。



最新の高性能の「強力振動目覚まし時計 Wake V-A」を20個も頂き、久松事務総括も感激していました。

(写真は東京信友土持(つちもち)さん(左)より寄贈される久松事務総括(右))

☆6/24～7/11の救援中央本部としての動き

事務総括・物資支援・医療(メンタルケア)・義援金について

- ・日本財団からのミニバンの寄贈の受け入れについて被災3県本部へ検討依頼した結果、宮城本部と福島本部が寄贈を受けることに決定。
- ・7/1～5に、久松総括、手話通訳担当、連盟職員が岩手本部、宮城本部を訪問して今後の方針を協議。7/4から医療(メンタル)担当2名が合流。(福島は後日訪問を計画)
- ・WFD(世界ろう連盟)評議員会(7月中旬・南アフリカ)での救援活動報告用のパワーポイントを作成する
- ・7/7、久松事務総括、小出事務副総括との協議を行う

手話通訳等

- ・引き続き、宮城県からの派遣要請に対して手話通訳、ろうあ者相談員の派遣を調整し、福島県からの派遣要請に対して手話通訳の派遣の調整を行う

構成員、協力団体への情報提供

- ・救援宮城本部、支援岩手本部からの報告を配信。

マスコミ対応他

- ・岐阜放送より問い合わせ受ける

☆☆☆ 義援金のお願い ☆☆☆

被災地の聴覚障害者ら仲間の支援のために皆様のご協力をお願いします。

- ① 銀行：みずほ銀行 江戸川橋支店 普通預金 口座番号：1511276
名義：(財)全日本聾唖連盟 災害救援基金 代表 石野富志三郎
(サイタンホウジエンニホウアルメイ サイガキョウエンキョウダク化ヨウ イソフジサマウ)
※みずほ銀行内(本・支店間)での振込の場合、振込手数料は免除されます。
- ② 郵便振替：記号 00160-9-166840 名義：(財)全日本聾唖連盟
※通信欄に「東日本大震災の災害義援金」とご記入ください。

義援金総額 35,976,214円 (819件、2011年7月15日現在)



イラスト協力：芦原利江